経済同友

10

October
No.739

Contents

■特集

第5回　教育フォーラム　02
学校と経営者の交流活動推進委員会主催
勉強するのは何のため？
働くってどういうこと？

■Seminar

第1177回 会員セミナー　12
大山 健太郎 氏（アイリスオーヤマ 取締役社長）
「復旧・復興の現状と課題
～小売業の視点で～」

第1178回 会員セミナー　13
飯田 哲也 氏（環境エネルギー政策研究所 所長）
「日本の将来のエネルギー政策」

第1179回 会員セミナー　14
肖 敏捷 氏（ファンネックス・アセット・マネジメント 取締役社長）
「ポスト胡錦濤の中国経済の行方
～不透明感が高まる「政治の季節」～」

第107回 TCERセミナー　15
川口 大司 氏（一橋大学大学院経済学研究科 准教授）
玄田 有史 氏（東京大学社会科学研究所 教授）
大橋 弘 氏（東京大学大学院経済学研究科 准教授）
鯉渕 賢 氏（中央大学商学部 准教授）
原田 喜美枝 氏（中央大学商学部 准教授）
「経済学の視点からの震災復興（2）」

■Column

巻頭言　藤森 義明　01
「変革」

リレートーク　高乗 正行　11
「スマホ普及で新時代の幕が開く」

私の思い出写真館　濱口 敏行　18
「CSR元年と経済同友会の歩み」

新入会員紹介　17

今月の表紙：世界の文様シリーズ

【ベルギー・アールヌーボーデザインのタイル】

流れるような曲線が特徴的なアールヌーボーはフランスとベルギーが主流でした。都会的で優しさのあふれるデザインです。

巻頭言

副代表幹事
経済連携委員会 委員長
藤森 義明
住生活グループ
取締役 代表執行役社長

「変革」

私は最近、長年勤めたGEから日本の会社に転職した。アメリカと日本の会社の違いをよく聞かれるが、私は“日本人の実行力は素晴らしい”と答える。製品開発から、工場、営業に至るまで、与えられた課題をやり遂げる力は素晴らしい。しかし、なかなか変革が起こらない。

変革とは、現状に満足せず常に高いものを求めることだ。人間は成功してそこにとどまりたいと考える習性がある。しかし、それではそこで成長が止まり、気が付くと皆があっという間に追い抜いてしまっている。今の日本を見ると、成功どころか、20年の長い停滞にもかかわらず危機感がなく、変革が起きる気配もない。

かつて私のボスであったジャック・ウェルチは「世界には自分たちよりも優れた結果ややり方が必ずある。それが世界中のどこにあろうとも、それを見つけ、学び、そして追い越すことが経営者の責任である」と言って常に変革を行ってきた。グローバル市場で戦うのなら、世界的な観点からベスト・プラクティスを探すべきである。日本では通用しないとか、日本の文化には合わないといってそれを拒絶するのは、経営者の努力の怠りであり、決して世界で戦えるチームをつくることはできない。

リーダーの最も重要な役割は、常に変革を起こして組織を停滞させないことである。世界に視野を向け、あらゆるところから学んでくる精神。ベスト・プラクティスを取り入れて自らを変えていこうとする勇気。それを皆に伝え、皆の力を結集させることのできる情熱とコミュニケーション力。最後まで信念を持ってやり遂げる実行力。これらを持つのがリーダーである。

ジャック・ウェルチの退任パーティーで私は彼の隣に座った。これから何をするのか尋ねると、会社の大きさや知名度ではなく変革を最も欲しているCEOのアドバイザーをすると答えた。私も今の日本の会社に変革を起こすことを望まれて選ばれた。変革を起こさなければ私の存在価値はないと思っている。

新しい野田政権にも大きな変革を実現してほしい。日本の農業は大きな改革なくして将来はない。税制改革なくして財政問題の解決もない。貿易国たる日本が自らの扉を自らの手で開ける勇気がなければ、新しい日本を創ることはできない。今こそ日本の経営者たちが、そして国のリーダーが勇気を持って変革に臨み、次世代の基盤をつくるべきではないだろうか。